目黒稲門会会報

（題字：眞仁田　勉　初代会長）

第３８号　2008年 3月　発行人：加藤 栄護　編集長：服部 尚彦　事務局長：吉田 博行

事務局：〒153-0053　目黒区五本木2-47-5　Tel 03-3713-2096

『2008年新年会盛大に開催』

2008年1月12日、こまばエミナースにおいて72名出席のもと目黒稲門会新年会が盛大に開催された。

石川智子幹事の司会により、先ず加藤栄護会長より新年の挨拶があった。目黒稲門会は9年目を迎え、高齢の諸先輩方が益々元気で居られる事はご同慶の至りであり、ご列席の皆様も元気に楽しくお過ごし頂きたい。

昨年は不愉快な話が多く、平成19年を象徴する字に「偽」が選ばれた。昭和の20年は戦争が終わり最低の年であったが、その後日本人は頑張って世界で最も平等な国を作った。皆さんが当時これを担った人達と思うが、次の世代にこれを伝えて日本人として誇れる様な平成20年の終わりを迎えたいと結ばれた。最後に当会の会合に初参加の方3名と新規加入の3名の皆様に歓迎と謝意の表明がなされた。

次いで第一部の講演会に入り、司会者より本日の講師で当会々員でもある岩佐幸子さんのプロフィールが紹介された。岩佐さんの生まれは東京。小学6年で芦屋市に転居。1960年（昭和35年）法学部卒。結婚後ご主人（岩佐好恭氏　昭和34年　法・当会幹事）の仕事でサンフランシスコに2年間滞在。帰国後洋画の吹替え翻訳の仕事を始める。1995年より東北新社が設立した映像テクノアカデミアの映像翻訳科で講師を勤めている。主な作品に「哀愁」「レ・ミゼラブル」「タイタニック」ほか多数。シリーズもので、「世界の料理ショー」「ダイナスティー」「修道士ドルフェル」等々がある。

岩佐さんの講演は「洋画の翻訳現場の楽しい裏話―此処だけの話！」と題し、成功談、失敗談に苦労話を交えて興味の尽きない話であった。

先ず自己紹介の中で、私の世代では映画が娯楽の大きな部分を占めており、映画好きの祖母の影響を受け、初めて見たのは5歳の時。エノケンの活動写真だった。中学・高校・大学時代も許す限り映画を見まくった。モンゴメリー・クリフトの大ファンで「終着駅」を三宮まで見に行き財布を落として困ったことを思い出す。

洋画は自分が楽しむだけで翻訳など考えてもみなかったが、1972年に友人の友人（早大仏文卒）で東北新社の洋画吹替翻訳の仕事をしていた方がアメリカに移住することになり、代りにと同社に紹介されたのがこの仕事の始まりである。

当時はビデオなどない時代で、一畳程の翻訳室で

16mm映写機を自分で廻してテープに取り、持ち帰って家で翻訳した。　16ｍｍのフィルムは切れたり火がついたりする。ある時作品を通しで見たが巻き取りリールが廻っていなかった為、テープがゴチャゴチャと部屋一杯になり困っていたところ通りがかった人に救出してもらったこともある。その後ビデオやピアノタッチのテープレコーダが出て楽になった。

翻訳には字幕と吹替えがあり、日本は全て字幕だった。スーパーインポーズの第一作は1931年公開のマレーヌ・デートリックとゲリー・クーパーの「モロッコ」だった。テレビ放送が始まると同時に吹替えが始まり、吹替え第一号は1956年の「スーパーマン」である。

岩佐さんの話は更に制作上のきまりや制約のほか、

作品の背景や文化、習慣、専門的表現、禁句、差別用語等々を具体的に述べられ、35年近く携わって来られたご苦労が想像されるが、それらは紙数の関係で残念ながら割愛させて頂く。

引き続き石川幹事の司会で懇親会に入り、当会最長老の藤岡長世相談役の乾杯の発声で開始、駆けつけた青木英二目黒区長の新年の挨拶と、目黒区の掲げた

(1) 子育て支援・・・小中学生医療費無料化

(2) 防災・・・安全安心の街作り、地震報知システムによる被害最小化の施策が披露された。

暫く懇談の後、土川副幹事長より、昨年12月入会の岩瀬　暁、永田耕治、宮本良平の3氏の紹介と、新年会初参加の大久保健治、大杉邦雄、福井正康の3氏の紹介があり、皆さんより一言ご挨拶を頂いた。なお、手塚仁雄氏より飛び入りのご挨拶も頂いた。

歓談が盛り上るなか、時は容赦なく過ぎ、土川副幹事長リードで全員肩を組み、校歌を高らかに斉唱した。続いて、当会初代事務局長の樋口相談役による中締め挨拶と手締めで新年会の幕を閉じた。

新入会員

岩瀬　暁氏（昭和35年　商研）

趣味：ゴルフ、旅行―としなのでご迷惑を掛けるのではないかと心配していますが、どうかよろしくお願い致します。

永田耕治氏（昭和36年　商）

趣味：囲碁、ゴルフ、音楽―世田谷在住ですが、お仲間に入れてください。

宮本良平氏（昭和33年　政経）

趣味：ゴルフ―卒業以来目黒区民です。毎年9月校友との定例ゴルフ、食事会をしています。諸兄姉との会合が楽しみです。

新入会員と新年会初参加会員

左より　大久保、大杉、岩瀬、福井、宮本、永田、の各氏

新年会出席者（五十音順、敬称略）

（来賓）青木英二目黒区長

（出席者）芦澤哲男、阿部喜久雄、荒瀬修一郎、有山勇次郎、安藤嘉昭、石川智子、石川純子（母）、鈴木克子（友人）、市瀬一江、市瀬達夫、伊藤源喜、伊藤　悠、井村正陽、岩佐好恭、岩佐幸子、岩瀬　暁、鵜野洋治、海口昭治、梅沢良雄、大久保健治・千代子夫妻、大杉邦雄、大野利幸・幸子夫妻、小野　満、海沼美智子、加藤栄護・玲子夫妻、川井信義、紀本直幸・悦子夫妻、桑野裕光、郡山弘文、後藤克彦、桜井輝隆、島田久家、庄野　耕、外岡　明・ルリ子夫妻、田島順一郎、田畑　繁、千野逸平、土川俊雄、都築秀行、手塚仁雄、中上美代子、中西千可子、長島清志、永田耕治、服部尚彦、林田雅敏・敞子夫妻、樋口定廣、樋口俊彦、福井正康、藤岡長世、堀井良造、牧野武夫、松尾洋一、松田哲也、真仁田　勉、宮本良平、村上　満、保井　正・榮子夫妻、八幡和三郎、山口一男、横山　大、吉田博行、渡邉三郎・道子夫妻

（島田　記）

― 艶やかな石川智子幹事の司会 ―

― 新年会を彩る女性陣 ―

― 新年会の受付準備 ―

校友会だより

―早稲田大学校友会　東京23区支部大会 講演会・懇親会のお知らせ―

日　時：平成20年3月21日（金）18：00～
（17：30開場）

場　所：リーガ・ロイヤルホテル東京

参加費：10,000円

プログラム：

第一部　講演会　18：00～19：00

―講演：元総理大臣　森　喜朗　衆議院議員

―会場：同ホテル　ダイアモンドの間（2階）

第二部　懇親会　19：15_21：00

―「森元首相、白井総長、瀬下代表幹事を囲んで」

―会場：同ホテル　3階

―演奏：ハープとフルートの二重奏

ハープ奏者平野花子さん（教2年）は、世界最高峰米国のハープコンテストにおいて、日本人初のファイナリストに残り、「準優勝」に輝く。現代曲の特別賞も受賞。

―お楽しみに！

申し込み先：各区稲門会

締め切り　：3月5日（水）

―多くのご参加をお待ちしております。

23区支部幹事　大竹一子

各部会からの案内・報告

囲碁部会

平成19年12月9日（日）下目黒住区センターにて忘年会囲碁大会を開催。参加者16名は過去最多。大会はA・B・Cクラス、持点制・総当り制の過酷な試合となった。当日は午前11時から午後6時まで昼食をはさんで7時間にも及ぶ熱戦が展開され、Aは大久保健治氏（S37年理工）、Bは杉山泰大氏（S28年商）、Cは鵜野洋治氏（S39年商）が優勝された。大久保、鵜野両氏は新入会員であり、囲碁部会の前途に明るい灯となった。その後、日本料理松喜に席を移し、加藤会長、浅海幹事長も交え、オール早稲田囲碁祭でのダブル優勝を祝い、午後8時30分校歌を熱唱してお開きとなったが、平均年齢73歳の目黒稲門会囲碁部会のエネルギーを爆発させた1日だった。ホテルオークラの開業時の社長・野田岩次郎氏は70歳から囲碁を始められ、お亡くなりになる91歳まで碁を楽しみ、7段まで進まれたという。

囲碁部会長　保井　正

目黒稲門会・若手会

本会への参加条件は、平成年度ご卒業の目黒稲門会会員を中心に、もう少し年次が上の方や、ご家族ご友人も歓迎です。初参加の方、あるいは久しぶりすぎて顔を出しにくいと言う方、特に歓迎します。

目黒稲門・若手会幹事　石川智子

カラオケ部会

―カラオケ発足8年を迎えて―

当部会では日頃同好会員の皆様が楽しんで頂いていますが、設立8周年を迎えた機会に部会の主な変遷を纏めてみました。

第1回　於バッハ　　世話役　井本成彦

平成11年10月10日（日曜日）15時～18時

会費　3000円　　2ヶ月1回日曜日決定

参加者　13名

井本成彦、山口一男、小川裕正、樋口定廣、横山　大、浅海敏之、土川俊雄、長島清志、計良勝利、海口昭治、中西千可子、志田力夫（鮨八）、竹部道雄（中野稲門会）

（参加役員の協力により無事発足をみる）

第4回平成12年4月16日（日）世話役　山口一男

会費　男性3000円　女性1000円

歌唱点数制実施　最高点96点　中西千可子

第10回平成13年5月20日（日）世話役　海口昭治

トップ賞　96点　中上美代子　94点　大野利行

75点　土川俊雄、羽村六男

第11回平成13年7月15日（日）

参加者18名全曲2番までとする

トップ賞　98点　中上美代子、大野幸子

第19回平成14年11月10日（日）

会場をスタジオ　サンステップに移転

第27回平成16年3月14日（日）

アンケートの結果　毎月第2日曜日2時半～5時半

第34回平成16年10月17日（第3日）

会場をコートダジュール学芸大学店に移転

次回より　5時～8時とする

第35回平成16年11月12日（第2金曜日）

第38回平成17年　2月18日（第3金曜日）

会場費の都合により4時～7時

他部会と競合することがあると、変更の連絡ならびに会場の確保に支障をきたすので、毎月第2金曜日午後4時～7時を決定　会報に掲載

今日に至る

カラオケ部会長　　海口昭治

ゴルフ部会

暖かい春爛漫の季節に次回のゴルフ会を計画しています。

1.　2008年4月22日（火）

2.　オークビレッジ・ゴルフクラブ

場所は、近場の千葉木更津近郊です。

計画の詳細が決まり次第、改めてホーム・ページ等で周知いたしますので、楽しみにしていて下さい。

目黒稲門会のゴルフは、目黒のバックボーンである目黒通り、山手通りを活用して乗降が出来る便利な特徴があります。

ゴルフ部会長　大野利幸

ウォーキング部会

10月は広重や北斎の描いた情景が今なお残る相州江の島や岩屋の洞窟を歩き、弁財天信仰や頼朝戦勝祈願の地に接し、数々の歴史や文化の一端にふれました。帰りは6名で義経伝説で知られている腰越の港入り口船宿で朝獲りの地魚と地酒でストレスを吹き飛ばしました。

12月は楓の紅葉を求めて海蔵寺から化粧坂を経て妙本寺まで予定通りのコースを10名で散策しました。ただし地球温暖化の影響で紅葉の出来栄えはいまひとつでした。

＜春の開催予定＞ ★集合は現地駅、小雨決行

第19回　4月2日（水）JR鶴見駅西口10時集合

「横浜市二大花見の園巡り」

鶴見駅―三ツ池公園―鶴見駅―根岸駅―
桜（35種、1000本）

三渓園―本牧市民公園―八聖殿卿土資料館
桜並木（500 m）

第20回　5月24日（土）元町中華街駅5番出口、午後1時集合

「横浜市の花・バラを求めて山手地区巡り」

元町中華街駅―山手イタリア山庭園―山手公園―山手テニス発祥記念館―エリスマン邸―山手資料館―横浜外人墓地―山手111番館―横浜市イギリス館―大佛次郎記念館―県立神奈川近代文学館―港の見える丘公園（ローズガーデン）―山下公園―氷川丸

ウォーキング部会長　桑野祐光

麻雀部会

(1) 三区連合親善麻雀大会

11月24日（土）、渋谷の麻雀クラブ「スリーハンドレッド」に於いて　第19回三区（目黒・渋谷・世田谷）連合親善麻雀大会が目黒稲門会主催により開催されました。28名の参加者による半チャン4回の親睦を深めた競技の結果、目黒は上村氏が優勝、幹事の郡山氏が三位入賞と健闘しました。

(2) 定例麻雀大会

12月16日（日）、武蔵小山の麻雀クラブ「サン」に於いて第32回定例麻雀大会が開催されました。和気藹々の競技の結果、優勝したのは須佐井氏、準優勝は鈴木氏、三位は土方氏でした。また競技終了後には雀荘裏の中華料理店「井門」に於いて忘年会を実施し部員相互の親睦を一層深めました。

(3) 今後の大会予定

三区連合親善麻雀大会は渋谷稲門会主催により、4月12日（土）を、また目黒稲門会の定例麻雀大会は6月1日（日）を夫々開催予定しております。
皆様奮ってご参加ください。

麻雀部会長　松尾洋一

よん月会

―毎月　第4月曜日に開催
―時間　午後6時～午後8時
―会費　4000円（飲み放題、食べ放題）
―場所　『あっぱれ都立大学店』（03-3717-4591）
―出欠連絡　土川　03-3794-0396
(注)　2月25日、3月24日、4月28日
　　5月26日　に開催します。

よん月会幹事　土川俊雄

旅行部会

平成19年11月25日（日）～26日（月）に一泊二日で尾崎士郎『人生劇場』の故郷・吉良を訪ねる旅行を行いました。21名の方が参加され、天候にも恵まれ楽しい旅となりました。

本年春には石川県金沢などを候補として検討をしております。乞うご期待

旅行部会長　井村正陽

グルメ部会

グルメ部会では、年3回程度リーズナブルな金額と雰囲気・味の良い店を厳選してご案内しています。

もし、ご推薦の店がありましたら、情報をお待ちしております。

グルメ部会長　海沼美智子

美術・歴史鑑賞部会

次を計画していますので、メール等をご注目を！

1) テーマ：江戸東京博物館「天璋院篤姫展」
2) 日　時：3月15日（土）10：30集合～15：30
3) 講　座：鼎談「激動の時代を生きる天璋院篤姫」
4) 昼食・懇談：掻き揚げ丼で有名な両国「天亀八」
5) 参加費：1000円＋昼食代

美術・歴史鑑賞部会長　八幡和三郎

会員の広場

「吉良・浜名湖紀行記」

梅沢良雄（昭和45年　政経）

平成19年11月25日（日）。井村旅行部会長から"時間厳守"のお達しだったにもかかわらず、集合時間の7時30分に数分遅れて到着し、最年少の若輩が大先輩方をお待たせしてしまいました。毎日通勤している中目黒駅で乗換を忘れ、渋谷駅まで行ってしまったためです。この調子だから、日ごろ、もう弁護士を辞めたいと言っているのであります（この2月末でsemi retireの予定）。

参加者は、奥様方を含め総勢21名。和気藹々の和やかな雰囲気で、快晴の空の下、一路、東名高速を快調に南下。吉良町へ入り、尾崎士郎記念館では、稲門

の、中村英雄館長の特別のお計らいで、心のこもったご案内・ご説明をいただきました。ボランティアガイドの黒部五郎さんからは吉良上野介の名君ぶりをとくと拝聴。実は、私の“良雄”は、父が大石内蔵助を尊敬する余りの命名だったのですが（お陰で、未だに、昼行灯—役に立たない—のままです）。

夕刻、館山寺温泉の開華亭に到着。早速、温泉に浸かってリラックスしたところで、井村部会長や小杉さんのリードにより楽しくかつ賑やかな夕食の宴会。私も、遅刻した罰に、ヘタなハーモニカを鳴らさせていただきました。荒瀬さんが口火を切った第二校歌「人生劇場」の競演は、なかなかの見ものでありました。今度、せりふを教えて頂こうと思っております（理事長をお願いしている早稲田奉仕園の奥島孝康元総長の十八番です）。宴会後のカラオケでは、加藤会長を初め諸先輩方の、とてもお年とは思えない（失礼！）美声、声の張り、表現力、音程の確かさには、ただただ脱帽です。お世辞ではなく、（ワセオケの林田さんの前では言えませんが）6年ばかり楽器を習っている我身としては、恥ずかしい限りです。深夜、満点の星と上天の満月を眺めながら露天風呂…ここで一首詠めるようであれば、なかなかの者なのですが…。

26日（月）。豊田佐吉記念館では、決して豊かだったとは言えない出身の佐吉翁が苦学力行の末、世界のトヨタの種を撒いたことに感動いたしました。浜松駅前の楽器博物館も一見の価値があります。その後、名物の鰻を戴き、一路東京へ。ほぼ予定通り、目黒に全員恙無く帰着致しました。

今回、初めて参加させていただきましたが、まだフルの現役である私が想像していた“定年後の人生”とは全く異なった世界の扉を開けて、眩しい光を感じた次第です。3月からが本当に楽しみです。人生万歳！初対面の旅行でも、構えることなく安心して付き合えるところが稲門会の良いところです。是非、皆さんも参加して下さい。最後に、井村部会長、お骨折りお疲れ様でした。有り難うございます。

— 尾崎士郎記念館前で —

会員の広場

「免状如件」

保井　正（昭和34年　政経）

私は61歳で自由の身になって本格的に囲碁に打ち込むようになった。当時は5級の棋力だと思う。囲碁での多くの知己を得て大変有意義な人生を送れていると思う。免状について蘊蓄を傾けたい。

保井　正殿

貴殿棋道執心修行	きでんきどうしゅうしんしゅうぎょう
無懈怠手段漸熟依	けたいなくしゅだんようやくじゅくす
之三段令免許畢猶	これによってさんだんめんきょせしめおわんぬ
以勉励上達之心掛	なおもってべんれいじょうたつのこころがけ
可為肝要者也仍面	かんようたるべきものなりよって
免状如件	めんじょうくだんのごとし

私が関西棋院から頂いた免状の原文である。

初段は漸新、二段は愈新、三段は漸熟、四段は愈熟五段は益巧、六段は益精、七段は益妙、八段は入聖、九段は

貴殿夙究棋道之蘊	きでんつとにきどうのうんのうを
奥手段超凡技霊妙	きわめ　しゅだんちょうぼんぎれいみょう
将達神域為九段免許畢	まさにしんいきにたっす　くだんとなし
仍而免状如件	めんきょせしめおわんぬ よってめんじょう　くだんのごとし

まさに神域に達している棋士は平成19年12月21日現在、日本棋院の全棋士314名のうち、九段は96名である。　棋聖は允許状である。

免状に使われる紙は越前の手漉き和紙大高檀紙に一枚一枚書家が心を込めて手書きし、高名棋士が直筆で署名した格調高い免状である。

藤沢秀行氏の「碁打ち一代」によると、棋士にはきちんとした席次があって、まずタイトル保持者、それも棋聖、名人、本因坊、十段、天元、王座、碁聖の順に並び、続いて九段、八段と段が低くなってゆくが、同段の場合は、入段の早い人、というふうにきまっている。と記している。

ゴルフやテニスなどの動態系はいくら本を読んでも結果がついてこない。しかし、静態系の囲碁は勉強すれば効果が明確に出てくるので楽しみだ。

一週間の勉強の成果を土曜日に碁会所で確かめて、自分の実力をはかる事ができる。

60歳の手習い、70歳の手習いは大いに結構。
目標を定めて挑戦していく心掛けこそ、老後を愉快に健康に過ごせる原動力である。

リレー随筆

「ゴルフ場、プレーヤーに求められる危機管理」

桜井輝隆（昭和27年　商）

かれこれ6年前になるだろうか、神奈川県のあるゴルフ場で痛い目に遭っている。　パー3のホールで、キャディ付きにも関わらず前組のクラブが5本も置き忘れてあった。私はホールアウトするや親切心から追いかけ大声で知らせた。そこまではよかったのだが、後からやって来た電磁誘導式カートに追突されたのだ。左足首の痛みに堪えながら茶店まで行き、連絡を取ってもらった。車が来たのは10数分後。そしてハウスに戻ったが、横になるところがない。で、病院に行ったのは、事故に遭ってから1時間以上経っていた。緊急・救急ではなく、待たされて診察を受けたが、骨折や断裂はない、との診断。しかし、2ヶ月、3ヶ月経っても痛みが引かない。主治医のいる病院に行ったらアキレス腱が切れていると。しかも凄く怒られた。すぐに手術が必要なのに、なにをしていたのか、と。高齢ならなおさら、という。この一連の痛い経験で、ゴルフ場の危機管理はなっていないと、感じたのだ。

いまゴルフ場に求められているのは、まず緊急・救急体制。どこでなにが起こったのか、いち早く知り、その対応が必要ではないか。担架が備わったカートで、速やかに運ぶ。クラブハウスには、ベッドが備わった医務室が必要ではないか。ことは生死に関わることかもしれないし、1分1秒を争うことかも知れない。私のメンバー・コースの太平洋クラブで、社長に提案し、全コースに、支配人と幹部職員が救急救命士の資格をとり、AEDを備える緊急体制が3年前に完了しております。本来ならば全ゴルフ場にそうした対応が求められるのではないだろうか。高齢化社会になるこれからは、ますますこうした危機管理、安全への配慮がゴルフ場選択の要素になってくると思う。

私達ゴルファーも、自らの対策を考えておかなければならないだろう。私は今「緊急カード」なるものを肌身離さず持っている。ここには、名前、自宅住所、電話、生年月日に始まり、既往症、平常時の血圧、体温、脈拍数などから、主治医の名前、その病院、緊急連絡先まで書いてある。4年前、このカードのお陰で、九死に一生を得たのだ。都内のある会合で話しているとき、ろれつがおかしくなり、このカードを出して「よろしく」とお願いしたのだ。自分の顔写真もカードに印刷されているので、本人と確認し、即座に救急車で運ばれたが、このカードの威力で脳梗塞から生還した。私の仲間も真似してカードを作成している人も多い。個人情報にも関わることだが、こうしたカードがあれば、診る方も的確に迅速な診察ができると思う。我々プレーヤー、そして受け入れるゴルフ場、どちらにも、危機管理が強く求められる時代である。

特別寄稿

「英国のパブ文化」

高橋圭吾　（平成1年　理工）

英国では、どんな小さな町にも必ずパブがあります。パブとはパブリック・ハウスの略でその町のコミュニティーの場を提供しています。英国というと伝統的な階級社会というイメージがありますが、パブではみんなが階級とは無縁で、ビール、ウィスキーやワインなどを飲みながらお客さん同士がサッカーやラグビーや地域の話題で盛り上がっています。また、旅行者でもパブに行けば、みな気軽に話しかけてくれます。私はすっかり英国のパブ文化に魅せられてしまいました。

私は、1999年から2001年まで、ロンドンで投資銀行のＩＴ部で働いていました。当時は、ちょうど2000年問題の頃で、大晦日から出社していましたが、特に大きな問題もなく平穏無事に新年を迎えました。オフィスは、セントポール寺院の向かい側のビルにありました。歩いてテムズ川を渡るブラックフライヤー橋から盛大に打ち上げられている花火を見ていました。

私は英国に滞在しているときにスコッチに興味を持ちました。スコッチウィスキーは、スコットランドの文化や歴史と深く結びついています。英国、日本ではイギリスと呼びますが、正式には United Kingdom です。イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランドはもともと別の国でした。イングランドは、アングロ・サクソン人を祖先に持ち、スコットランド、ウェールズ、アイルランドは、ケルト人を祖先に持っています。ケルト文化とは、文字を持たない文化で謎に包まれたところが多いですが、音楽や芸術に秀でた文化です。もともとケルト人はヨーロッパ大陸に住んでいたのですが、ローマ人の台頭によって、フランスのブリタニア地方、スコットランド、ウェールズ、アイルランドに追いやられました。スコットランドの歴史は、イングランドとの戦いの歴史です。特にスコットランド人はイングランド人に対してものすごい対抗心を持っています。間違えてもイングリッシュとスコテュッシュを一緒にしてはいけません。ポンド紙幣もスコットランド独自の紙幣があるくらいです。

ケルト人は、ウィスキーを最初につくった民族と言われています。現在ウィスキーに関する最古の記述は、1494年のスコットランド王室財務省記録の「王の命令により修道士ジョン・コーに麦芽8ボルを与えてアクアヴィテを造らしむ」だそうです。ウィスキーの語源は、ケルト語の「ウシュク・ベーハー uisge-beatha」（生命の水）という意味で同意語のラテン語「アクアヴィテ aquavitae」(aqua:水＋ vitae:生命)から来てます。したがってウィスキー元年は、1494年とされていま

す。今では、ウィスキーの5大国はスコットランド、アイルランド、アメリカ、カナダ、そして日本と言われています。

スコッチの面白さは、大麦と水と酵母しか使われていないのに、それぞれの蒸留所にまったく違った個性があることです。スコッチウィスキーが作られる地方は大きく分けて6つの地方に分かれます。アイラ島、ハイランド、ローランド、スペイサイド、キャンベルタウン、アイランドです。それぞれの地方でかなり違う個性があります。アイラ島は、とても癖のあるスモーキーなフレーバーがあります。代表的な蒸留所はラフロイグ、ラガブーリン、アードベック、ボウモアなどです。この島はピートという泥炭が豊富で、モルトをつくるときに乾燥したピートを炊き込む、独特のスモーキーなウィスキーが特徴です。スペイサイドは、森の中にあるせいか、エレガントで華やかなウィスキーです。スペイサイドには、スコットランドの蒸留所の半分以上50ヶ所の蒸留所があります。代表的なのは、マッカラン、グレンリベット、グレンフィディックなどです。私の印象に残る蒸留所は、グレンリベットです。ここでは、樽を熟成する熟成庫の中で飲んだ72年のウィスキーがとても感動的でした。

2001年に私は英国から帰国し、日本にも英国のパブ文化を紹介できればとずっと思っていました。そこに、弟の友人でお店をやろうというスタッフがあつまり、2005年についに英国パブを西麻布にオープンしました。お店の名前は、「Grail」。これは、その時読んでいたダビンチコードのHoly Grail（聖杯）の杯から取りました。場所は、www.grailbar.com にあります。お店のオープン前には、スタッフ一同でスコットランドに研修旅行に行きました。スペイサイドとアイラ島の20ヶ所の蒸留所に行きました。朝と昼はウィスキーの蒸留所を巡り、夜はパブで飲み歩きました。パブでは、これから日本でパブを始めるのでスタッフみんなで研修旅行に来たというと、スコットランド人のシェフがGrailのシェフ高石をキッチンに連れて行って、フィッシュ・アンド・チップス、シェパードパイ、ギネスパイ、ハギスなどのパブフードの作り方を懇切丁寧に教えてくれました。英国というと食事がうまくないというイメージがありますが、ちょっとした工夫で大変美味しくなります。特にスコットランドの郷土料理にはとても美味しいものがあります。

お店をオープンして、2年半経ちましたが、これからも西麻布から英国のパブ文化を発信していきたいと思います。美味しい料理とお酒と芸術を楽しみながら、仲間と団欒できる場を提供できればと思います。また、ウィスキーの美味しさ奥深さを少しでも多くの人たちに楽しんでいただければと思います。

—ハイランドパーク蒸留所

—蒸留所の熟成庫にて

—夕日のボウモア蒸留所

—ボウモア蒸留所のピート堀り

募金目標94%に到達

早稲田大学校友会募金局からのお知らせです。目黒区在住の校友からの125周年記念事業募金は、募金目標の94%まで到達致しました。金額にしますと残り約450万円で100%になるとのことです。2006年7月時点では達成率63%でした。目黒稲門会会員を始め校友の皆様の努力の成果ではないでしょうか。

出来るものなら100%の大台に乗せたいものです。目黒区に3,700名余の早稲田大学卒業生が在住しています。また校友会費を納めている方は950名あまり、その内目黒稲門会の会員は160名です。

今一度皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

お問合せは事務局（03-3713-2096）まで

事務局

部会案内一覧

詳細は本誌の各部会報告をご覧いただき、興味をお持ちの部会にお気軽にご連絡下さい。　平成20年3月現在

部会名	部会長 担当幹事	連絡先 電話/Fax	参加人数	当日会費 (年会費ナシ)	活動概要
囲　碁	保井　正		10数名	500円	毎月1回（下目黒住区センター）
カラオケ	海口昭治		15～20名	3,000円 女性1,000円	毎月　第二金曜　午後4～7時 (コートダジュール学芸大学店B1)
グルメ	海沼美智子		20～30名	6,000円～ 10,000円	年3回程度　リーズナブルな金額と雰囲気・味の良い店を厳選
ゴルフ	大野利幸		20～30名	25,000円程度	年2回　春秋 目黒通りバスで送迎 別途 秋に総長杯
ウォーキング	桑野祐光		15～20名	なし(各自負担)	シーズン中は毎月1回程度
麻　雀	松尾洋一		10数名	3,000円	年4回　武蔵小山サン　他区稲門会との連合親睦大会（年3回）
美術・歴史鑑賞	八幡和三郎		30～40名	その都度	年3～4回
旅　行	井村正陽		20～30名	その都度	年2回　春秋
目黒稲門・若手会	石川智子		数名	5,000円	年数回　土曜夜　若手・準若手
よん月会	土川俊雄		15～30名	4,000円	毎月　第4月曜　午後6～8時 (「あっぱれ」都立大学店)
広報編集委員会	服部尚彦	eメール URL	mcguro-tomonkai@nifty.com http://homepage3.nifty.com/mc96tomon-waseda/		

事務局便り

春は弥生の曙に・・・春は上野の「天国」で桜づくしと洒落込みましょう。加藤会長特別企画「東京のお父さんを囲む会」のお知らせです。　花の名所、春爛漫の桜を愛でつつ、舌の上にも桜を転がす。
目黒稲門会ならではの企画です。

日時：3月28日（金）　18時～
場所：馬肉専門店　熊本「天國」
上野公園内西郷像横　03-3824-3211
参加費：10,000円＋α（酒の飲む量によります）
参加申込：目黒稲門会事務局迄（メール・FAX）
締切日：3月7日（金）

（ご注意）時期・場所柄、人数制限がありますのでご了承下さい。また、当日キャンセルは費用を頂く事があります。

またまた、グラウンド・ゴルフ見学のお誘い！

稲門会の皆様、月2回の研修会＝初心者教室で快い汗をかいて、健康増進！ぜひお気軽に見学に来てください。目黒区体育祭は、目黒区・目黒区教育委員会・NPO目黒体育協会が主催し、目黒区グラウンド・ゴルフ連盟が主管し実施しておりますが、第46回目黒区体育祭春季グラウンド・ゴルフ大会は、平成20年5月18日(日)に下記研修会の会場の碑文谷野球場で開催されます。

生涯スポーツのグラウンド・ゴルフを目黒区の愛好者の方とお楽しみ頂く前にぜひ碑文谷での研修会＝初心者教室を覗いてみませんか・・・。
稲門会の皆様のご参加も心よりお待ちしています。

日時：原則毎月第2・4水曜日、午前9時～12時。
場所：碑文谷野球場（体育館）
費用：一般区民300円（傷害保険含む）
用具：全て無料貸出し致します。
グラウンド・ゴルフ汗かき人　安藤嘉昭

ＨＰ便り

会報には紙面の制約等もありますが、HPには十分余裕がありますので写真もふんだんに載せられます。部会以外でも掲載されたい写真がありましたら是非メールで数行のコメントと共にお送り願います。（小杉　記）

編集後記

38号3月号で新広報編集委員会が担当して3号目の発行となりました。　会報内容の品質、編集の基盤構築が外岡前編集長の編集委員会で確立されたので、会員各位の協力と支援を頂きながら、それを何とか引継ぎ、年を越しました。

ご存知のように、目黒は目黒通りを背骨に、連絡、交通の便が他に比べて格段に地の利で優れています。

土地柄、若い会員が少ない傾向にありますが、「都会的な地域の会」として纏り良いことが最大の特徴の一つであり、お互いに助け合える、楽しい会として発展する様に、会報としても一翼を担いたいと常に願っております。　（服部　記）